

令和4年度 市議会意見交換会「議員と語っちゃオ！！」記録 ⑤

日 時 : 令和4年10月24日(月) 午後7時～午後8時30分
会 場 : 豊田公民館
参加市民 : 11人
テ ー マ : 「地域の課題」について
実施方法 : 市民、議員を3グループに分けて意見交換・懇談後、市民による発表

1 スマートインターチェンジについて

- 岡谷地区のトンネルの住民見学会が開催されたが、諏訪地区は見学などの計画はあるか。開示は必要と思うが。
- 工期5年計画。再来年3月に開通予定。
- 大型トラックが頻繁に通行し農道が痛んでいる。修復、メンテナンスは考えているか。
- 修復は随時する予定になっている。見学は聞いてみる。
- スマートインターの進捗状況は気になっている。
- 休日等、歩行者が危険。農道、生活道路等、危険箇所は住人から区長、区長から行政と三段階。これが直にできるようならいいが。
- スマートインターの活用等はどうか考えているか、とても期待している。
- まちづくりの観点で考えてほしい、情報がほしい。
- 農業地帯といわれるが、ここに商業施設等があると観光面でもいいと思う。
- 公設市場があるが、これは維持してほしい。

2 補助金について

- たとえば新婚のアパート等の家賃補助について、意外と若い人ほど知らない現状。もっとオープンにしてほしい。
- 現在の補助基準では、ほとんどの人が該当せず使いにくい。

3 高齢者について

- コロナ禍で施設の負担が増加し、大変である。
- 要介護の人が増えている。
- 高齢化で雪かき・草刈りが大変になってきている。
- 高齢者の区費は減免している。区費の減少が課題になってきている。
- 文出地区・小川地区の諏訪湖に近い地区、郵便ポストが無く高齢者が不便である。
- 高齢化社会における移動のサポート、楽しく過ごせるための施設やソフト面が必要。
* 楽しく暮らす中身(居場所、地産地消、サロン等)

4 災害について(防災)

- 社協: 災害時にボランティアセンターを設置し活動するが、災害地域などとの連携に苦慮している。
- 社協: 昨年の災害時にローラー作戦でボランティアをしたが、何をどうしたらいいかが、すぐにはわからなかった、連携強化は必要と感じる。
- 有賀区とは独立した自主防災組織を作り活動している。この組織は平成28年に立ち上げ主に啓蒙活動を中心としているが、行政区との連携など理想と現実のギャップがあり困難が伴う。
- 豪雨時にトイレの水が使えない、豊田地区は低い。

5 「ゴミ出し」の問題について

- 分別していない・指定袋ではないものを使用していて、回収されないものが多い。
- 回覧をまわして喚起しているが、なかなか改善されない。

6 区営温泉について

- 区営温泉が厳しい。
- 高齢者は温泉がライフラインになっている。若い人の新規加入が少ない。
- 温泉施設の老朽化。市へ支払う温泉代金が安くないか。ポンプの増強が必要。

7 空き家問題について

- 空き家が増加している。
- 「空き家区費」をもらっている。

8 区の運営について

- 区民の親睦の機会が減っている。
- 区内の各委員会の役割を区民が理解していない、役員のなり手がいない、地域が変わらない、変わらない人がいる。
 - ・区行政に対して無関心、積極的に参加しては。
 - ・地域コミュニティが希薄。
- 人口減少による地域の維持、発展。魅力ある地域形成。

9 その他

- 荒廃地のアレチウリや雑草の除去をしてほしい(河川の土手、湖畔、農地)。
 - ・河川、湖畔は県へ、所有者が不明の土地は農業委員会に相談すれば…。
- 学校の部活動が地域移行になる。地域の協力が必要であるが大丈夫か。
- 国道と西街道を結ぶ東西線(有賀線、白狐線、上社線)は右折レーンが無く混雑する。
 - ・県道諏訪辰野線、工業団地入り口。白狐線、上社線のサンリツロード交差点。
- 人口減少に伴う議員定数の見直しが必要。